

時間割コード	KB3520	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	火1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	TOLLEFSON TOD				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

--

授業の概要/Course Overview

This course will be taught in English and will introduce the student to the breadth and history of the field of victimology. As a new field of knowledge, victimology, its history and related definitions are still being debated. Students will become familiar with the terms of the debate and contribute to it. Concepts and theories related to established and emerging forms of victimization will provide the student with a broad base for evaluating the ongoing research and emerging developments in the field.

キーワード/Keyword(s)

Victimology, victim, abuse, domestic violence, victim support

到達目標/Learning Objectives

Students will become conversant with established and emerging forms of victimization, data collection methods and results, the impact upon victims and services designed to help them recover.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：Historical overview and theories of victimology
 第2回：Measuring criminal victimization
 第3回：The costs of being a victim: Compensation and restitution
 第4回：Homicide victimization
 第5回：Child abuse victims
 第6回：Elder abuse victims
 第7回：Student presentations
 第8回：Impaired driving victims
 第9回：Human trafficking victims
 第10回：Intimate partner violence
 第11回：Victim services
 第12回：Compensated dating in Japan
 第13回：Suicide bereaved
 第14回：Structural victimization
 第15回：Student presentations

【Homework】
 Readings and worksheets will be distributed weekly for the student to complete and hand in. Timely reading and completion of the worksheets will keep the student abreast of the material covered in the course.

【Active Learning】 The following active learning features are implemented in the course:

Discussion: share ideas, opinions and experiences related to lesson topics (1-15)

Presentation Q&A: Evaluate presentations and follow up with questions (7, 15)

履修上の注意/Notes

The student should be broadly familiar with the types of victimization regularly covered in the news (abuse, domestic violence, suicide, etc.) and with social problems generally.

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Achieved 90-100% of what is specified in the grading system.

A: Achieved 80-89% of what is specified in the grading system.

B: Achieved 70-79% of what is specified in the grading system.

C: Achieved 60-69% of what is specified in the grading system.

D: Achieved less than 60% of what is specified in the grading system.

成績の評価方法/Grading

Grading will be based on weekly worksheets (40%), 2 reports (15% each) and 2 presentations (15% each) on victimological topics of the student's choice.

教科書/Textbook(s)

備考	No textbooks
----	--------------

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

Other

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB3521	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	火1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	君塚 淳一				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

アメリカのポップカルチャーの歴史に関する英文テキストを読むと同時に、その文化的背景も理解し、特にその中でも自分が関心ある分野については、英語で説明できるようにする。内容をより理解できるようにビデオテープやCDなども使用していく。また、毎回、20分ほどの時間を使い、映画のスク립トを用いた英会話の学習も行う。

キーワード/Keyword(s)

リーディング、スピーキング、アメリカ文化、アメリカ音楽史、ジャズ、ブルース、カントリー、ロック、ミュージカル

到達目標/Learning Objectives

自分が関心のある分野について「中級程度の英文」で書かれた文章を辞書なしで理解できるようになること。またそこで学習した語彙や表現を用いて少なくともその分野については自由に発表できるようになること。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いたガイダンスと導入
- 第2回 Chapter 1 Blues and Gospel①
- 第3回 Chapter 1 Blues and Gospel②
- 第4回 Chapter 2 Jazz
- 第5回 1回～4回までについての小テスト+Chapter 3 The Music Industry, Film and Musicals①
- 第6回 Chapter 4 The Music Industry, Film and Musicals②
- 第7回 Chapter 5 Soul, Funk, Disco and R&B
- 第8回 5回～7回までについての小テスト+Chapter 6 The Sixties①
- 第9回 Chapter 6 The Sixties②
- 第10回 Chapter 8 The British Invasion ①
- 第11回 8回～10回までについての小テスト+Chapter 8 The British Invasion ②
- 第12回 Chapter 9 Hip Hop and Rap
- 第13回 Chapter 10 Rock and Pop from the 1970s Onward ①
- 第14回 Chapter 10 Rock and Pop from the 1970s Onward ②
- 第15回 学生によるプレゼン5回～7回までについての小テスト+11回～15回までについての小テスト

【授業外学修】

授業では予習は不可欠。指定進度による予習の際には、自ら、語彙、文法事項や構文、イディオムについても指摘できるように準備する。

【アクティブ・ラーニング】

注：「時代や状況を英文をとおして理解し、プレゼンにて説明する。理解度をチェックするフィードバック用のカードを毎回、記入する。語彙、文章に関する4技能を使う小テストを実施する

履修上の注意/Notes

授業では予習は不可欠。また章ごとに語彙に関する小テストも行う。質問は大歓迎。遅刻は20分まで入室可。また遅刻は3回で欠席1回とする。試験の受験資格は全体の3分の2以上の出席があるものとする。オフィス・アワーは火曜日の4限。それ以外でも研究室在室の場合はOK。

情報端末の活用

15回目の授業でアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォン等持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+： 到達目標の2点を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
- A： 到達目標の2点を達成し、優れた学修成果を上げている。
- B： 到達目標の2点と学修成果を概ね達成している。
- C： 到達目標の2点について、合格と認められる最低限の学修成果に届いている。
- D： 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

「小テスト」「発表とレポート」「授業への貢献度」を概ね6：3：1で計算する。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	The Story of Popular Music
著者名	Herman Bartelen
出版社	マクミランランゲージ
出版年	2017
ISBN	9784777360499
教材費	1900

備考	教科書：The Story of Popular Music(Herman Bartman) マクミラン 1900円
----	--

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	
実践的英語力	

社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

その他 語学科目

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3522	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	火1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	岡崎 正男				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

学術用英語

授業の概要/Course Overview

さまざまな種類の英文（主に雑誌記事）を読むことにより、英文の内容を英文で要約する能力を養う。具体的には、内容を自分の言葉で要約して文書化する能力と文書化した内容を口頭で発表する能力の両方の向上を目指す。

キーワード/Keyword(s)

英文要約、パラグラフリーディング、英文エッセイライティング、英語講読、談話構造、抑揚

到達目標/Learning Objectives

1. 英文の内容を「自分の言葉で」わかりやすく要約できる。
2. 要約した内容をしっかりとスタイル英文で書くことができる。
- 3.しっかりとスタイルの英文を英語らしい抑揚をつけてプレゼンテーションができる。
4. 状況に応じて英語らしい抑揚で質疑応答ができる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回【授業内容】 シラバスを用いたガイダンスおよび英英辞典の引き方
【授業外学修】 読み方の訓練のため配布するサンプルについて英英辞典を用いて予習
- 第2回【授業内容】 第1回の授業時に配布したサンプルにもとづく読み方の見本の提示
【授業外学修】 書き方の訓練のために配布するサンプルについて英英辞典を用いて予習
- 第5回～第8回の授業時に講読するテキストを配布し、担当を決めるので、
その予習
- 第3回【授業内容】 第2回の授業時に配布したサンプルにもとづく英語の書き方の基本事項の提示
【授業外学修】 英語の抑揚の基本事項を記した資料を配布を配布するので、それにもとづく自分で発音練習
- 第4回【授業内容】 第3回の授業時に配布した資料にもとづく英語の抑揚の基本事項についての講義（担当者による抑揚の実演と受講生の実演）
【授業外学修】 第2回の授業時に配布したテキストの予習（歴史関連もしくは教育関連の雑誌記事）
- 第5回【授業内容】 担当者の発表（内容要約）と討論
【授業外学修】 発表内容と方法についての授業担当者のコメントにもとづく改善と
第6回の授業時に読む範囲についての予習
- 第6回【授業内容】 担当者の発表と討論。第8回～第10回で読むテキスト配布（科学記事）と担当者決定。
【授業外学修】 発表内容についての授業担当者のコメントにもとづく改善と第7回
の授業時に読む範囲の予習
- 第7回【授業内容】 担当者の発表と討論
【授業外学修】 発表内容についての改善点の検討と次回の予習

第8回【授業内容】 科学記事についての担当者の発表と討論

【授業外学修】 次回の予習。小レポート①の執筆。

第9回【授業内容】 科学記事についての担当者の発表と討論。第11回～第13回で読むテキスト配布と担当者の決定。

【授業外学修】 次回の予習。小レポート①の執筆。

第10回【授業内容】 科学記事についての担当者の発表と討論。小レポート①の提出。

最終レポートの課題と締切を紙媒体で配布。

【授業外学修】 次回の予習。

第11回【授業内容】 国際関係もしくは日本関連の記事の発表と討論

【授業外学修】 次回の予習と小レポート②の執筆

第12回【授業内容】 国際関係もしくは日本関連の記事の発表と討論

【授業外学修】 次回の予習の小レポート②の執筆

第13回【授業内容】 国際関係もしくは日本関連の記事の発表と討論

【授業外学修】 復習と小レポート②の執筆

第14回【授業内容】 戯曲を用いた抑揚の訓練。小レポート②提出。

【授業外学修】 抑揚と発話の意図の対応の復習。最終レポート執筆。

第15回【授業内容】 戯曲を用いた抑揚の訓練。

【授業外学修】 抑揚と発話の意図の対応の復習。最終レポート執筆。

履修上の注意/Notes

1. 授業は定刻に開始するので、遅刻禁止。定刻を過ぎた場合には、特別の事情のない限り入室不可。
2. 授業中はPCやスマホなどは机の上に出さないこと。（ただし、授業アンケート入力の際はこの限りではない。）
3. 英英辞典を各自持参のこと。（冊子体、電子辞書、いずれも可）授業中は英英辞典以外使用不可。英和辞典使用禁止。
4. オフィスアワー：木曜日の昼休み

情報端末の活用

第15回目の授業の際に授業アンケートを実施するので、PC,スマートフォン等を持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : レポートの英語の談話構造がサンプルに準じた構造でしっかりとした自分の言葉で書かれており、文法事項やcollocationについても修正する必要がない場合。加えて談話の流れと発話の意図に応じて英語らしい抑揚で英語の文もしくは複数の文を発話できること。
- A: レポートの英語の談話構造がサンプルに準じた構造でしっかりとした自分の言葉で書かれており、最小限の修正を施せばよいレベルだること。文法事項やcollocationについても最小限の修正で済む場合。加えて談話の流れと発話の意図に応じて、英語らしさの基準を最低限満たした抑揚で英語の文もしくは複数の文を発話できること。
- B: レポートの英語の談話構造がサンプルに準じた構造でしっかりとした自分の言葉で書かれているが、毎頁朱がめだっって入るレベルのもの。文法事項やcollocationについても多くの修正を必要とする場合。加えて談話の流れと発話の意図に応じて抑揚をつけて発話できるが、母語の干渉が強く見られさらなる訓練が必要と判断される場合。
- C: レポートの英語の談話構造の骨格はわかる程度の自分の言葉で書かれているが、全体を大直しが必要と判断される場合。毎頁朱で覆われるレベルもの。加えて談話の流れと発話の意図に応じて抑揚をつけて発話できたりできなかったり不安定要素が観察される場合。
- D: レポートの英語が授業中の指示やサンプルを無視して、自己流で夜郎自大的、自己満足的な構成のもの。抑揚についても英語らしくなく、まったくの自己流の発話に徹しているもの。

成績の評価方法/Grading

小レポート2回：30%（英文で2枚～3枚程度もの）（課題、締切は授業中指示）
学期末レポート：55%（英文で6枚～8枚）（課題、締切は授業中指示）
学期末の抑揚実技試験：15%

教科書/Textbook(s)

備考	教科書は使用しない。コピーを配布する。
----	---------------------

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	「英語耳」と鍛え「英語舌」を養う
著者名	今井邦彦
出版社	開拓社
出版年	2019
ISBN	9784758912051
教材費	2200

参考書2

書名	英文法解説
著者名	江川泰一郎
出版社	金子書房
出版年	1991
ISBN	4760820094
教材費	1870

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

その他

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3523	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	火1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	市川 千恵子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

学術用英語

授業の概要/Course Overview

この授業では、BBCニュースの音声、映像、記事を通して、イギリス英語とイギリス内外の最新事情を学びながら、リスニング、英文読解力、語彙力を鍛えます。また、各ユニットの内容に関して、ライティングを課しますので、同時に表現力も修得することを目指します。

キーワード/Keyword(s)

読解力、内容把握力、語彙の構築、ライティング

到達目標/Learning Objectives

- 1) 英文の内容を読み取り、要約することができる。
- 2) 英語の音声を正確に聞き取り、意味を把握することができる。
- 3) 豊富な語彙力を身に付け、ライティングや議論において適切に表現することができる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回 シラバスを用いたガイダンス
 第2回 Unit 1: A Coffee Shop in a Phone Box（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第3回 Unit 2: Breakdancing at the Olympics（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第4回 Unit 3: Shopping without Plastic（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第5回 Unit 5: A Four-Day Week（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第6回 Unit 6: The Fashion Industry and the Environment（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第7回 Unit 7: Community Cycling（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第8回 Review Test 1: (Listening and Vocabulary 1), Essay writing skills 1
 第9回 Unit 8: A Smartphone Amnesty（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第10回 Unit 9: Guide Dog Discrimination（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第11回 Unit 10: Financial Literacy at School（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第12回 Unit 12: The Success of Hip and Knee Replacements（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第13回 Unit 13: Britons Apply for German Citizenship（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第14回 Unit 15: Climate Change Protests（リスニング、ペア・ワークによる議論、短い英文作成）
 第15回 Review Test 2 (Listening and Vocabulary Test 2), Essay writing skills 2

【授業外学修】

- (1) 毎回、指定範囲の英文の内容の把握、リスニング、語彙の課題が課されます。授業前に必ず、指定範囲の課題を終えておきましょう。
- (2) 復習として、英語表現と文脈の理解を深め、英語特有のパターンを把握しておきましょう。その達成度をリスニングと語彙力を中心

に、2回の小テストにて確認します。

履修上の注意/Notes

- ① 予習を十分にしてから授業に参加すること。
- ② 毎回短いライティングが課され、学期内に2回のエッセイライティングの提出が求められます。
- ③ リスニングと語彙を中心に2度のReview Testを実施します。
- ④ 15分以上の遅刻は認めない。
- ⑤ オフィスアワー：火曜日お昼休み

情報端末の活用

・ 予習は、スマートフォン用オンライン映像配信サービスを使用すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+: 英語の音声を正確に聞き取り、内容の把握が十分にでき、豊富な語彙力を駆使して、ライティングや議論において正確に表現できる。
- A: 英語の音声を聞き取り、内容の把握ができ、語彙力を駆使して、ライティングや議論において適切に表現できる。
- B: 英語の音声を聞き取り、内容の把握がある程度でき、語彙力を駆使して、ライティングや議論において表現できる。
- C: 概ね英語の音声を聞き取り、内容の把握ができ、限られた語彙力を駆使して、ライティングや議論において最低限の表現ができる。
- D: 英語の音声の聞き取りと内容の把握ができず、語彙力がなく、ライティングや議論において表現することができていない。

成績の評価方法/Grading

Review Test 2回実施(40%)
Essay Writing 2回提出(40%)
その他の課題(20%)

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	British News Update 2
著者名	Timothy Knowles他
出版社	金星堂
出版年	2020
ISBN	9784764740976
教材費	2600

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	Oxford Advanced Learner's Dictionary
著者名	
出版社	Oxford University Press
出版年	2015
ISBN	9784010752999

教材費	5940
-----	------

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

日英併用

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3524	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	火1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	野田 真里				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

Globalization and Global Issues

授業の概要/Course Overview

授業題目(Title/Theme) : Globalization and Global Issues

本講義は、Globalization and Global Issuesを英語で学ぶ、英語による専門的な授業である。本学Practical English(PE)の最高レベルにふさわしい授業を展開する。国連等が推進する「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development: ESD)を通じて、我々の地球社会を取り巻く諸課題を「グローバルに考え、ローカルに行動する」ために必要な、グローバル化する国際社会・地域社会の課題の分析と解決にむけた、英語による専門知識とスキルを習得する。担当教員は国際開発学等を専門とし、国連「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs)を中心に研究している。SDGsが示す通り、いまやグローバル化や経済、社会、環境等のグローバル課題は、他人事（よその国・地域）ではなく我が事（自分の国・地域）としての問題解決が重要となる。また、担当教員は英語をもちいてのグローバルな研究・教育および実務経験が豊富であり、国際的に大学・研究機関および国連、政府・自治体、開発機関、市民社会等で仕事をしてきた。こうした知見・経験等を踏まえて、グローバル+ローカルな様々な現場で活躍できる人材、地球市民global citizenを育てたいと考えている。'Think globally, act locally'.

キーワード/Keyword(s)

Sustainable Development Goals (SDGs), Education for Sustainable Development (ESD), Globalization and Global Issues, Peace, Development, Human Rights, Environment, global citizen, 'Think globally, act locally'

到達目標/Learning Objectives

- ①英語を用いてグローバル化する国際社会・地域社会の課題を読み解き、問題解決するための英語による専門知識とスキルAcademic and professional skills in English、および国際教養と適応力Global Literacy and global competencyを身につける。
- ②Active learningをつうじて、英語を駆使した問題解決能力・コミュニケーション能力を向上する。
- ③「受験・試験のための英語」から卒業し、「よりよく生きるための英語」が使えるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1.Introduction by using syllabus: Commencement from 'Study for Examination'.
- 2.Transformation toward 'Leaning for Better Life'.
- 3.'Education and Gender' 1: Analysis
- 4.'Education and Gender' 2: Presentation and discussion
- 5.'Global Warming' 1: Analysis
- 6.'Global Warming' 2: Presentation and discussion
7. Midterm review and reflection
8. 'Drinking Water' 1: Analysis
9. 'Drinking Water' 2: Presentation and discussion

10. 'Poverty and Hunger' 1: Analysis
11. 'Poverty and Hunger'2: Presentation and discussion
12. How academics and professionals use English in global context: English for global communication 1
13. Beyond language proficiency: English for global communication 2
14. Terminal presentation 1
15. Terminal presentation 2, reflection and conclusion

【授業外学修】

- (1) 平素から主体的学びを通じて、日本や我々の地域社会も地球社会・国際社会の一員であることを認識し、グローバル化、グローバル課題を「我が事」ととらえ、理解を深めること。
- (2) 平素から主体的学びを通じて、地球社会の様々な国・地域や人々が直面する開発や平和にかかわる課題を、自分の地域、自分自身のこととして共感し、理解するようにつとめること。
- (3) 平素から主体的学びを通じて、教科書はもとより本講義のテーマにかかる英語の文献やICT教材等を渉猟、自らのものすること。
- (4) 平素から主体的学びを通じて、英語の四技法および多様なバックグラウンドをもつ人々とのコミュニケーション能力およびの向上につとめること。

【アクティブ・ラーニング】

- (1) 全ての授業を通じてアクティブ・ラーニングの手法を用いる。「何を教わったか」のみならず、「何を主体的に学び、身につけ、課題設定・問題解決能力等を向上させたか」を重視する。
- (2) アクティブ・ラーニングにつき、以下の手法を用いることがある。グループ討論、調べ学習、グループ発表、ポートフォリオ、シンク・ペア・スクエア・シェア、ブレインストーミング、親和図法、ポストアップ討論、ワールドカフェ、ストラクチャード・プロブレム・ソルビング、ピア・インストラクション、アナリストック・チーム、クイズ形式授業、ロールプレイ、ケースメソッド、PBL、ポスターセッション、授業前レポート、授業後レポート、反転授業等、その他必要に応じて等。
- (3) e-learningによるアクティブ・ラーニングを、SNS, ICT等をつうじて行うことがある。

履修上の注意/Notes

・履修上の注意(Notes)

1. CEFRのB1レベル (TOEIC L&R 550点相当)以上の、本学の最上級英語レベルの学生が対象。授業は原則として英語で行う。英語を活かしたキャリア形成や海外留学等を希望する学生に適している。
2. 学生の学習状況や理解度、教育効果等にかんがみ、授業計画、授業内容、教科書・参考書等を変更することがある。
3. 授業計画のトピックは、国立総合大学にかんがみ文系・理系学部に関係するcross cutting issuesを選んでおり、所属学部にかかわらず、学際的な興味関心を持つことが求められる。
4. 学習効果を高めるため、特別授業（ゲストによる講演、フィールドワーク等）を所定時間外に実施することがある。履修者の状況等により調整等、学生の不利益にならないよう配慮する。フィールドワーク実施の場合、旅費等は学生の自己負担となる。
5. その他、必要に応じて指示する。

【発展学習にむけて】

1. 日本語による発展学習として、人文社会科学部の担当教員の専門科目「国際開発学」（2年次・後期、日本語開講）の履修を推奨する。当科目は英語で専門的内容を扱うため、母語（日本語）によりさらに理解を深めることが有益と考えられる。
 2. 英語による発展学習として担当教員の次の3科目（英語開講）を推奨する。英語圏の大学での授業を念頭に展開、留学・海外活動の希望者・経験者等に適している。
- GEP (Global English Program) 科目1) 「Studies in Particular Fields(3年次3Q)」、2) 「Reading & Discussion」 (3年時4Q)、人文社会科学部専門科目3) 「人間の安全保障：Human Security」 (3年時前期)。

情報端末の活用

1. 本学のBYOD実施にかかり、毎回の授業時にはPC等を持参すること。
2. 教務情報ポータルシステムおよびSNS等によるe-learningを活用する。

3. 詳細は追って指示する。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : Globalization and Global Issuesの専門的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて英語で理解・説明できている。
- A : Globalization and Global Issuesの専門的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて英語で理解・説明できている。
- B : Globalization and Global Issuesの専門的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて英語で理解・説明できている。
- C : Globalization and Global Issuesの専門的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて英語で理解・説明できている。
- D : Globalization and Global Issuesの専門的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについて英語での理解・説明ができていない。

成績の評価方法/Grading

1. 授業への主体的な参加や貢献等 (40%)
 2. 指示する課題等 (60%)
- *グループワーク・ペアワーク、発表、リフレクションペーパー、タームペーパー、Quiz (小テスト) 等により評価する。出席は単位認定の前提条件である。
- *その他、必要におうじて指示する。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Global issues towards peace
著者名	Keiso Tatsukawa [ほか] 著
出版社	南雲堂
出版年	2014
ISBN	9784523177418
教材費	

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input checked="" type="radio"/>
課題解決能力	<input checked="" type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

○

地域志向科目

○

使用言語

その他

実務経験のある教員による授業科目

Globalization and Global Issuesにおける実務経験等を有するゲストスピーカーを招いての特別授業等を行う場合がある。

実践的教育から構成される授業科目

Globalization and Global Issuesの関連機関への訪問等をつうじて、実践的教育を行うことがある。

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等

時間割コード	KB3529	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	柴田 博和				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

このクラスは、学術的な内容だが一般読者向けの洋書を読みながら高度な語彙・読解力、分析力、発表力を身につけることを目的としています。文系・理系分野に共通するトピックを学際的な視点から考察し、読んだ内容を鵜呑みにすることなく批判的・多角的・独創的に議論することが求められます。授業では、毎回ある程度の量のリーディング、語彙テスト、グループ作業、そして発表を行います。学生は、主張と裏付けの理解、その分析と要約、そして明瞭かつ論理的な発表が求められます。英語で「学術的に」読み、そして堂々と知的な発表ができるようになることを目標としています。

キーワード/Keyword(s)

Belief; Cognitive Science of Religion; Neurotheology; Brain Evolution

到達目標/Learning Objectives

- * 文理の垣根を超えたトピックに関して学際的な視点で書かれた文献を読めるようになる
- * 特に背景知識のないトピックを批判的に考察・分析できる
- * 分析の結果をわかりやすく要約し発表できる
- * 自身と異なる主張を多角的に評価できる

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1. Introduction to the course / The Power of Beliefs
2. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (1)
3. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (2)
4. The Construction of Perceptual Beliefs (1)
5. The Construction of Perceptual Beliefs (2)
6. The Biology of Conceptual Beliefs (1)
7. The Biology of Conceptual Beliefs (2)
8. The Development of Childhood Beliefs (1)
9. The Development of Childhood Beliefs (2)
10. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (1)
11. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (2)
12. Nuns, Buddhists, and the Reality of Spiritual Beliefs
13. Speaking in Tongues
14. The Atheist Who Prayed to God
15. Becoming a Better Believer / Conclusion

【授業外の学修】

(1) 予習として、課されている箇所の議論を理解するだけでなく、その議論を批判的に評価し自分の主張を論理的に表現してくる（→授業内のDiscussionの準備&Chapter Analysisとして提出）。

(2) 単なる内容の理解に留まることなく、著者の主張/議論がどう表現されているのかといった言語面にも注目する（→Vocabulary Quizの対策）。

【アクティブ・ラーニング】

授業は講義中心ではなく、学生によるプレゼンテーションと、その内容に関する小グループでの議論及び全体での議論が中心となる。その準備として、毎回課された箇所を批判的に読んで分析したペーパーを提出する。授業中の議論では、準備してきた分析をシェアするだけでなく異なる意見を議論しながら、自分の主張を個人的経験や知識で裏付けをして表現する積極的な参加姿勢が常に求められる。

履修上の注意/Notes

(1) 2回目より授業開始直後にVocabulary Quizを行うため、遅刻厳禁とする（遅刻は3回で欠席1回とみなす）。

(2) トピックに関する背景知識は特に必要としないが、自分の経験・知識に裏付けられた意見を自発的に発表することが求められる。

(3) 答えが一つではないトピックに関して、英語で読み、考え、表現し、議論することに慣れていってほしい。

情報端末の活用

ポータルシステムを通じて資料を随時配布する予定。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標の4点に関して極めて高いレベルで達成されている。

A : 到達目標の4点に関して高いレベル以上で達成されている。

B : 到達目標の4点に関して平均的なレベル以上で達成されている。

C : 到達目標の4点に関して最低限のレベル以上で達成されている。

D : 到達目標の4点のうち1点以上において全く達成されていない。

成績の評価方法/Grading

(1) Weekly Analyses --- 28% (2points×14 classes)

(2) Presentations --- 12% (6points×2回)

(3) Class Participation --- 30% (2points×15 classes)

(4) Final Paper --- 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	BORN TO BELIEVE: God, Science, and the Origin of Ordinary and Extraordinary Beliefs
著者名	A. Newberg & M. R. Waldman
出版社	Free Press
出版年	2006
ISBN	9780743274982
教材費	2552

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3530	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	森下 早也香				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

In this course, you will watch and read news stories in English and deepen your understanding of current topics through discussions and presentations.

キーワード/Keyword(s)

Current topics, discussion, presentation, active learning, communication skills, problem solving skills

到達目標/Learning Objectives

The objective of this course is to give students the opportunities to learn about current international topics in English and further develop and improve their listening, reading, writing and speaking skills. Through watching news stories and discussing them and giving presentation on them, students will be able to

- (1) understand current international issues in English
- (2) exchange opinions about current topics
- (3) make speeches on current issues
- (4) write essays on current topics based on their speeches

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

Day 1 Introduction: course guidance, Self-Introduction Activity
 Day 2 Unit 1 pp1-6
 Review: Unit 1 pp1-6, preparation for speech and essay
 Preview: Unit 2 p7
 Day3 Speech, Unit 2 pp7-12
 Review: Unit 2 pp7-12, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 1
 Preview: Unit 3 p13
 Day4 Speech, Unit 3 pp13-18
 Review: Unit 3 pp13-18, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 2
 Preview: Unit 4 p19
 Day 4 Speech, Unit 4 pp19-24
 Review: Unit 4 pp19-24, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 3
 Preview: Unit 5 p25
 Day 5 Speech, Unit 5 pp25-30
 Review: Unit 5 pp25-30, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 4
 Preview: Unit 6 p31

Day 6 Speech, Unit 6 pp31-36
Review: Unit 6 pp31-36, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 5
Preview: Unit 7 p37
Day 7 Speech, Unit 7 pp37-42
Review: Unit 7 pp37-42, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 6
Preview: Unit 8 p43
Day 8 Speech, Unit 8 pp43-48
Review: Unit 8 pp43-48, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 7
Preview: Unit 9 p49
Day 9 Speech, Unit 9 pp49-54
Review: Unit 9 pp49-54, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 8
Preview: Unit 10 p55
Day 10 Speech, Unit 10 pp55-60
Review: Unit 10 pp55-60, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 9
Preview: Unit 11 p61
Day 11 Speech, Unit 11 pp61-66
Review: Unit 11 pp61-66, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 10
Preview: Unit 12 p67
Day 12 Speech, Unit 12 pp67-72
Review: Unit 12 pp67-72, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 11
Preview: Unit 13 p73
Day 13 Speech, Unit 13 pp73-78
Review: Unit 13 pp73-78, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 12
Preview: Unit 14 p79
Day 14 Speech, Unit 14 pp79-84
Review: Unit 14 pp79-84, preparation for speech, essay and vocabulary quiz from Unit 13
Preview: Unit 15 p85
Day 15 Speech, Unit 15 pp85-90, Reflection

履修上の注意/Notes

Students are expected to actively participate in discussions and exchange opinions about current topics in every class.
Two thirds or more of class attendance is required. If you are more than 15 minutes late for class, it will be counted as one absence.

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 4 objectives are achieved at an extremely high level.
A : 4 objectives are achieved at a high level.
B : 4 objectives are achieved at a medium level.
C : 4 objectives are achieved at a minimum level.
D : One or more objectives are not achieved at all.

成績の評価方法/Grading

speech 35% essay 35% vocabulary quiz 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Seeing the World through the News 4
著者名	Timothy Knowles 他
出版社	金星堂
出版年	2017
ISBN	9784764740327
教材費	2500

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input checked="" type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input checked="" type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3531	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	TOLLEFSON TOD				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

This course will be taught in English and will introduce the student to the breadth and history of the field of victimology. As a new field of knowledge, victimology, its history and related definitions are still being debated. Students will become familiar with the terms of the debate and contribute to it. Concepts and theories related to established and emerging forms of victimization will provide the student with a broad base for evaluating the ongoing research and emerging developments in the field.

キーワード/Keyword(s)

Victimology, victim, abuse, domestic violence, victim support

到達目標/Learning Objectives

Students will become conversant with established and emerging forms of victimization, data collection methods and results, the impact upon victims and services designed to help them recover.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：Historical overview and theories of victimology
- 第2回：Measuring criminal victimization
- 第3回：The costs of being a victim: Compensation and restitution
- 第4回：Homicide victimization
- 第5回：Child abuse victims
- 第6回：Elder abuse victims
- 第7回：Student presentations
- 第8回：Impaired driving victims
- 第9回：Human trafficking victims
- 第10回：Intimate partner violence
- 第11回：Victim services
- 第12回：Compensated dating in Japan
- 第13回：Suicide bereaved
- 第14回：Structural victimization
- 第15回：Student presentations

【Homework】

Readings and worksheets will be distributed weekly for the student to complete and hand in. Timely reading and completion of the worksheets will keep the student abreast of the material covered in the course.

【Active Learning】 The following active learning features are implemented in the course:

Discussion: share ideas, opinions and experiences related to lesson topics (1-15)

Presentation Q&A: Evaluate presentations and follow up with questions (7, 15)

履修上の注意/Notes

The student should be broadly familiar with the types of victimization regularly covered in the news (abuse, domestic violence, suicide, etc.) and with social problems generally.

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Achieved 90-100% of what is specified in the grading system.

A: Achieved 80-89% of what is specified in the grading system.

B: Achieved 70-79% of what is specified in the grading system.

C: Achieved 60-69% of what is specified in the grading system.

D: Achieved less than 60% of what is specified in the grading system.

成績の評価方法/Grading

Grading will be based on weekly worksheets (40%), 2 reports (15% each) and 2 presentations (15% each) on victimological topics of the student's choice.

教科書/Textbook(s)

備考	No textbooks
----	--------------

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

Other

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB3541	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	P S	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	伊藤 礼子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

英語の4技能のうち、特に読むことおよび書くことに重点を置きながらも、聞く技能および話す技能の効果的な運用も心がけ、幅広い話題に触れることにより、大学生活における英語学習と専門分野との懸け橋となる実践的な技能を習得するための活動を行い、各自興味のあるテーマでエッセイを作成する。ペアワークやグループワークで課題に取り組む。

キーワード/Keyword(s)

academic skills, communication, four skills (reading, listening, writing, and speaking), critical thinking

到達目標/Learning Objectives

学術的なテキストを読む活動を中心として、英語の4技能の意味のある運用を行うことができ、それぞれの専門分野において、英語を効果的に運用する基本的な技能の習得することと、説得力のあるエッセイを書けることを目標とする。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回 【授業内容】 Course IntroductionとReading Skills and Paragraph Writingの確認

第2回 【授業内容】 Unit 1 Reading 1 We all Need a Role Model
【授業外学修】 Reading 1の読解とvocabulary、設問B, D, E, F, G, H

第3回 【授業内容】 Unit 1 Reading 2 Search for 100 Real-Life Heroes
【授業外学修】 Reading 2の読解とvocabulary、設問B, D, E, F

第4回 【授業内容】 Unit 1 Writing (Writing Skill, Writing Model, Restrictive Relative Clause
Unit 1 Review
【授業外学修】 Writing Modelの読解と設問A, B

第5回 【授業内容】 Unit 2 Reading 1 So Much Dead Space
a three-paragraph analysis essayの提出
【授業外学修】 a three-paragraph analysis essayの作成
Reading 1の読解とvocabulary、設問B, D, E, F, G, H

第6回 【授業内容】 Unit 2 Reading Skill Highlighting and annotating
Unit 2 Reading 2 Now on Stage: Your Home!
【授業外学修】 Reading 2の読解とvocabulary、設問B, D, E, F

第7回 【授業内容】 Unit 2 Writing a descriptive essay
Unit 2 Review
【授業外学修】 A. Writing Modelの読解

第8回 【授業内容】 Unit 3 Reading 1 The Good Teen

a descriptive essayの提出

【授業外学修】 a descriptive essayの作成

Reading 1 The Good Teenの読解とvocabulary、設問B, D, E

第9回 【授業内容】 Unit 3 Writing a narrative essay and varying sentence

Patterns(Grammar 6 Plan)

【授業外学修】 設問A, B, C

第10回 【授業内容】 Unit 3 Review

Unit 4 Reading 1 Two Styles of Writing

【授業外学修】 Reading 1 Two Styles of Writingの読解とvocabulary、

設問B, D, E

第11回 【授業内容】 Unit 4 Understanding compare and contrast organization

Writing compare and contrast essay

【授業外学修】 Reading skill 設問A, Writing model 設問A, B, C

第12回 【授業内容】 Exploring ways to apply what students have learned to their own specific field

Topic-selection

【授業外学修】 Topic-selection

第13回 【授業内容】 Brain-stormingとOutline

【授業外学修】 Brain-stormingとOutline

第14回 【授業内容】 Essay DraftのPeer Review

【授業外学修】 Essay Draft作成

第15回 【授業内容】 Unit 4 Review Essay提出

【授業外学修】 Essay作成

【アクティブ・ラーニング】

各回ペアワークやグループワークで課題に取り組む。

履修上の注意/Notes

授業外学修をして授業に臨むこと。

情報端末の活用

P C利用

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 専門的な英文を十分理解し、きわめて正確な英語で説得力のあるエッセイを書くことができる。

A : 専門的な英文を理解し、正確な英語で説得力のあるエッセイを書くことができる。

B : 専門的な英文をおおむね理解でき、英語で説得力のあるエッセイを書くことができる。

C : 専門的な英文をなんとか理解でき、多少の誤りがある英語でも説得力のあるエッセイを書くことができる。

D : 専門的な英文を理解することができず、英語で説得力のあるエッセイを書くことができない。

成績の評価方法/Grading

Unit Review 40%, Essay 40%, Class Participation 20%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Q:Skills for Success Reading and Writing 4A with IQ online
著者名	
出版社	Oxford University Press
出版年	
ISBN	9780194820714
教材費	2500

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	◎
課題解決能力	△
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3542	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	P S	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	シャノンフレデリック				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

This course will explore various aspects of Canadian and North American culture. Students will be given the opportunity to pursue aspects of Canadian culture that interest them.

キーワード/Keyword(s)

Canadian Identity, Multiculturalism, Mosaic, Aboriginals, Quebecois, Maritimes, Prairies, Immigration

到達目標/Learning Objectives

Students will gain a better understanding of what is "Canadian" and develop a general understanding of Canadian culture and acquire a more in-depth knowledge of various areas of Canadian studies.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1. Introduction to the course and introduction to Canada
 2. Familiarization with Canada, its geography, regions and various peoples
 3. Canada: Early Beginnings
 4. Contemporary Canada: Recent History, Government, and Economy
 5. Arts and Education
 6. Canadians Enjoying Life: Sports and Recreation
 7. The Mosaic of Canada
 8. Mid-Term Presentation and Essays
 9. The Pacific Region
 10. The Prairie Provinces
 11. Central Canada: Ontario and Quebec
 12. Canada's North
 13. Noteworthy Canadians
 14. Final Presentations and Essays
 15. Final Presentations and Essays
- Homework: Preview all units and notes prior to class meetings and review all PowerPoints before any quizzes.
- Active Learning: Pair Work/Group Discussion (1-15), Quiz (9, 13), Presentations (7, 8, 14, 15)

履修上の注意/Notes

This course requires that students work together in small groups to discuss topics related to the course. The language of the classroom is English and therefore students will be expected to present and write in English. Homework assignments will be set weekly and students are expected to attend all classes and complete all homework as requested by the instructor.

情報端末の活用

--

成績評価基準/Evaluation criteria

A +: Understands 90 - 100% of the content covered in class from the textbook and teacher's presentation of the material on Canadian culture and issues.
A: Understands 80% of the content covered in class from the textbook and teacher's presentation of the material on Canadian culture and issues.
B: Understands 70% of the content covered in class from the textbook and teacher's presentation of the material on Canadian culture and issues.
C: Understands 60% of the content covered in class from the textbook and teacher's presentation of the material on Canadian culture and issues.
D: Understands less than 60% of the content covered in class from the textbook and teacher's presentation of the material on Canadian culture and issues.

成績の評価方法/Grading

Homework and Quizzes: 20% Mid-Term Presentation : 20%
Mid-Term Essay: 20% Final Presentation : 20% Final Essay: 20%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Gateway to Canada Second Edition
著者名	Virginia L. Sauve
出版社	Oxford
出版年	2012
ISBN	978-0195443356
教材費	3445

備考	The assigned textbook for this course is: Gateway to Canada, Second Edition by Oxford University Press, ISBN13: 9780195443356. Photocopied materials will be distributed and relevant audio and visual materials, including online resources, will be adapted to support student learning.
----	--

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	

課題解決能力	
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3543	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	P S	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	シュミット ロナルド				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

Advanced English ⅢC

授業の概要/Course Overview

The purpose of the course is to develop the Academic English language skills of students. Students will develop their vocabulary, reading, discussion, presentation and critical thinking skills.

キーワード/Keyword(s)

academic English, social issues, economics, academic writing, academic reading
--

到達目標/Learning Objectives

Students will be able to engage in academic reading, writing, and discussion activities in English.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>Introduction to course. Explanation of syllabus. Homework: Research and report on the Gender Inequality Index.</p> <p>Gender Equality. Students will engage in activities using core vocabulary introduced in the unit. Students will read a text using scanning and skimming skills.</p> <p>Gender Equality. Through pair, group, and open class work, students are encouraged to develop critical thinking skills, such as identifying the difference between statements of fact and opinion, understanding different patterns of reasoning, analyzing graphs, and categorizing data. ○ Homework: Research and report on a topic related to diminishing resources for next class.</p> <p>A Thirsty World. The Cochabamba Water War. Students will use introduced vocabulary in various concordances. A text will be read the text. Inferences will be made. Comprehension questions will be asked and answered. Answers will be shared and compared using pair and group work. ○</p> <p>A Thirsty World. Students will gather, interpret, and report information related to the unit topic. ○</p> <p>Nuclear Power. Students will use scanning and skimming skills. The etymology of words will be introduced. Students are encouraged to develop critical thinking skills by conducting research and sharing onions related to the topic. ○ Homework: Prepare for the midterm presentation. The topic is related to the social issues discussed in previous classes (2-6).</p> <p>Midterm presentations. Homework: Prepare to discuss the changing retail industry.</p> <p>Online Retailing: Disappearing Stores. Students will engage in reading activities such as identifying reasons and making inferences. ○</p> <p>Changing retail industry discussion. Online Addiction: Too Much Fun? Students will engage in research activities related to video game and internet addiction. Students will make predictions and concluding statements.○ Homework: Research and report on a marriage custom.</p> <p>Marriage around the World. The changing of marriage in societies. Activities related to the topic will involve academic register and recognizing contrast in an academic text. ○</p> <p>Fished Out: Our Empty Oceans. Comprehension questions will be asked and answered. Answers will be shared and compared</p>

using pair and group work. Activities related to the topic will include reference words. ○

Renewable Energy: the Green Choice. Students will engage in academic reading, writing, and discussion activities related to the benefits of renewable energy sources. ○

(In)Equality in a Richer World. Students will analyze an academic reading passage in terms of cause and effect. Vocabulary will be used in collocation activities. ○ Homework: Research and prepare to discuss the positive and negative effects of social media.

Social Media: Changing Our Lives. Students will engage in paraphrasing and prediction activities. Concluding statements will be made. ○ Homework: Prepare for the final presentation based on a social issue of your choice. Visuals must include graphs and charts.

Final presentations with visuals.

【Homework】

Students will complete assignments and conduct further research related to the unit topics. Students will share and discuss their finding.

Home assignment for classes:

1. Research and report on the Gender Inequality Index.
3. Research and report on a topic related to diminishing resources for next class.
6. Prepare for the midterm presentation. The topic is related to the social issues discussed in previous classes (2-6).
7. Prepare to discuss the changing retail industry.
9. Research and report on a marriage custom.
13. Research and prepare to discuss the positive and negative effects of social media.
14. Prepare for the final presentation based on a social issue of your choice. Visuals must include graphs and charts.

【Active Learning】

Active learning will involve the application of reading skills Such as skimming and scanning, topic research, critical thinking, and various vocabulary activities. Students will also take part in pair and group work activities.

The following active learning features are implemented throughout the course:

- Discussion: share ideas, opinions, experiences related to lesson topics (2-6, 8-14)
- Think-Pair-Share: think about given questions and share opinions in pairs (2-6, 8-14)
- Round Robin: take turns expressing opinions and answering questions in groups (2-6, 8-14)
- Peer Instruction: figure out answers to questions/issues among students (2-6, 8-14)
- Interview: interview classmates and others on lesson topics and take notes (2-6, 8-14)

履修上の注意/Notes

The class will be conducted entirely in English. Students may not miss more than 5 classes.

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ Exceptionally strong background research. Exceptional use of charts and graphs during presentation.
- A Strong background research. Excellent use of charts and graphs during presentation.
- B Good background research. Some use of charts and graphs during presentation.
- C Some evidence of background research. Limited use of charts or graphs.
- D Little research is shown. No use of charts or graphs during presentation.

成績の評価方法/Grading

In-class activities 20%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%
Outside-class activities 10%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	In Focus Level 3
著者名	Charles Browne
出版社	Cambridge University Press
出版年	2014
ISBN	9781107680074
教材費	3000

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input checked="" type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

other

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB3608	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	水4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (機械システム・電気電子システム)	対象年次	2年次 ~ 4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English III C				
担当教員 (ローマ字表記)	田嶋 美砂子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

国内外の大学院等への進学、企業や研究機関への就職を考える上で、①専門分野に関連するプレゼンテーションの内容を聴き取る、②論文の内容を読み取る、③プレゼンテーションや論文で知り得た情報をまとめる、④それを人前で発表するといった活動は必須である。本授業では、教材として主にTED Talksを活用し、上記の学術活動を英語でも遂行することができる力を身につけることを目標とする。

キーワード/Keyword(s)

4技能 (聴く・読む・話す・書く) + 「伝える」力, TED Talks, global issues, グループ発表, 個人発表

到達目標/Learning Objectives

1. global issuesに関するプレゼンテーションに触れ、そこで話されている内容を正確に聴き取ることができるようになる。
2. 1のプレゼンテーションのスク립トを読み、その全体像を把握したり、使用されている語彙や表現を別の場面で応用したりすることができるようになる。
3. 1・2で得た情報を英語でまとめ、仲間同士で伝え合ったり、発展した議論に参加したりすることができるようになる。
4. さまざまなプレゼンテーション方法に触れ、そのよいところをとり入れ、自らの発表に活かすことができるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：
- 【授業内容】 コースの紹介／TED Talksの紹介／TED Talk 1 (聴く)
- 【授業外学修】
- ・ 本時の授業内容を復習すること。
- 第2回
- 【授業内容】 warm-up活動／TED Talk 1 (聴く・読む・語彙の確認)
- 【授業外学修】
- ・ 配付されたリーディング教材①を用いて、自学自修を行うこと。
- 第3回
- 【授業内容】 warm-up活動／TED Talk 1 (書く・ディスカッション)／TED Talk 2 (聴く)
- 【授業外学修】
- ・ 次時の小テスト1に向けて、これまでの授業内容を復習すること。
 - ・ 配付されたリーディング教材②を用いて、自学自修を行うこと。

第4回

【授業内容】小テスト1/TED Talk 2 (聴く・読む) /グループ発表の準備

【授業外学修】

- ・グループで発表の準備を進めること。
- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第5回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 2 (読む・語彙の確認・書く) /グループ発表の準備

【授業外学修】

- ・グループで発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト2に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第6回

【授業内容】小テスト2/グループ発表

【授業外学修】

- ・グループ発表の準備を進めること。
- ・配付されたリーディング教材③を用いて、自学自修を行うこと。

第7回

【授業内容】グループ発表/TED Talk 3 (聴く)

【授業外学修】

- ・配付されたリーディング教材④を用いて、自学自修を行うこと。

第8回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 3 (聴く・読む・語彙の確認)

【授業外学修】

- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第9回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 3 (書く・ディスカッション) /個人発表の準備

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト3に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第10回

【授業内容】小テスト3/TED Talk 4 (聴く・読む・語彙の確認)

【授業内容】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・配付されたリーディング教材⑤を用いて、自学自修を行うこと。

第11回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 4 (書く・ディスカッション)

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト4に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第12回

【授業内容】小テスト4/個人発表

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第13回

【授業内容】個人発表

【授業外学修】

・次時の拡大テストに向けて、これまでに学んだことを総復習すること。

第14回

【授業内容】拡大テスト

【授業外学修】

・個人発表の準備を進めること。

・配付されたリーディング教材⑥を用いて、自学自修を行うこと。

第15回

【授業内容】個人発表／拡大テスト返却

【授業外学修】

・返却されたテストを確認し、今後の英語学習に役立てること。

【アクティブ・ラーニング】

ほぼ毎回の授業で、ペアワークやグループワークを取り入れる。

履修上の注意/Notes

1. 3分の2以上、出席することが求められます。
2. 遅刻3回は欠席1回と見なされます。
3. 授業計画は毎時間の様子や進度により、変更する場合があります。

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：到達目標に記されている1～4のすべてを十分に達成している。
- A：到達目標に記されている1～4のすべてを達成している。
- B：到達目標に記されている1～4のすべてを概ね達成している。
- C：到達目標に記されている1～4のうち、いくつかの項目でさらなる伸長が求められるものの、その他においては概ね達成している。
- D：到達目標に記されている1～4を達成していない。

成績の評価方法/Grading

授業外学修に関する提出物（10%）、グループ発表（10%）、個人発表（20%）、小テスト（30%）、拡大テスト（30%）

教科書/Textbook(s)

備考	なし。授業内容に合わせて、ハンドアウトを配付します。
----	----------------------------

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
----------	---

専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3616	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (情報・物質・都市)	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員 (ローマ字表記)	田嶋 美砂子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

国内外の大学院等への進学、企業や研究機関への就職を考える上で、①専門分野に関連するプレゼンテーションの内容を聴き取る、②論文の内容を読み取る、③プレゼンテーションや論文で知り得た情報をまとめる、④それを人前で発表するといった活動は必須である。本授業では、教材として主にTED Talksを活用し、上記の学術活動を英語でも遂行することができる力を身につけることを目標とする。

キーワード/Keyword(s)

4技能 (聴く・読む・話す・書く) + 「伝える」力, TED Talks, global issues, グループ発表, 個人発表

到達目標/Learning Objectives

1. global issuesに関するプレゼンテーションに触れ、そこで話されている内容を正確に聴き取ることができるようになる。
2. 1のプレゼンテーションのスクリプトを読み、その全体像を把握したり、使用されている語彙や表現を別の場面で応用したりすることができるようになる。
3. 1・2で得た情報を英語でまとめ、仲間同士で伝え合ったり、発展した議論に参加したりすることができるようになる。
4. さまざまなプレゼンテーション方法に触れ、そのよいところをとり入れ、自らの発表に活かすことができるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>第1回：</p> <p>【授業内容】 コースの紹介／TED Talksの紹介／TED Talk 1 (聴く)</p> <p>【授業外学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の授業内容を復習すること。
<p>第2回</p> <p>【授業内容】 warm-up活動／TED Talk 1 (聴く・読む・語彙の確認)</p> <p>【授業外学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付されたリーディング教材①を用いて、自学自修を行うこと。
<p>第3回</p> <p>【授業内容】 warm-up活動／TED Talk 1 (書く・ディスカッション) ／TED Talk 2 (聴く)</p> <p>【授業外学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の小テスト1に向けて、これまでの授業内容を復習すること。 ・ 配付されたリーディング教材②を用いて、自学自修を行うこと。
<p>第4回</p>

【授業内容】小テスト1/TED Talk 2 (聴く・読む) /グループ発表の準備

【授業外学修】

- ・グループで発表の準備を進めること。
- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第5回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 2 (読む・語彙の確認・書く) /グループ発表の準備

【授業外学修】

- ・グループで発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト2に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第6回

【授業内容】小テスト2/グループ発表

【授業外学修】

- ・グループ発表の準備を進めること。
- ・配付されたリーディング教材③を用いて、自学自修を行うこと。

第7回

【授業内容】グループ発表/TED Talk 3 (聴く)

【授業外学修】

- ・配付されたリーディング教材④を用いて、自学自修を行うこと。

第8回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 3 (聴く・読む・語彙の確認)

【授業外学修】

- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第9回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 3 (書く・ディスカッション) /個人発表の準備

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト3に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第10回

【授業内容】小テスト3/TED Talk 4 (聴く・読む・語彙の確認)

【授業内容】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・配付されたリーディング教材⑤を用いて、自学自修を行うこと。

第11回

【授業内容】warm-up活動/TED Talk 4 (書く・ディスカッション)

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・次時の小テスト4に向けて、これまでの授業内容を復習すること。

第12回

【授業内容】小テスト4/個人発表

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・好きなTED Talkを自ら1つ選択して聴き、配付されたハンドアウトに自学自修した内容をまとめること。

第13回

【授業内容】個人発表

【授業外学修】

- ・次時の拡大テストに向けて、これまでに学んだことを総復習すること。

第14回

【授業内容】 拡大テスト

【授業外学修】

- ・個人発表の準備を進めること。
- ・配付されたリーディング教材⑥を用いて、自学自修を行うこと。

第15回

【授業内容】 個人発表／拡大テスト返却

【授業外学修】

- ・返却されたテストを確認し、今後の英語学習に役立てること。

【アクティブ・ラーニング】

ほぼ毎回の授業で、ペアワークやグループワークを取り入れる。

履修上の注意/Notes

1. 3分の2以上、出席することが求められます。
2. 遅刻3回は欠席1回と見なされます。
3. 授業計画は毎時間の様子や進度により、変更する場合があります。

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：到達目標に記されている1～4のすべてを十分に達成している。
- A：到達目標に記されている1～4のすべてを達成している。
- B：到達目標に記されている1～4のすべてを概ね達成している。
- C：到達目標に記されている1～4のうち、いくつかの項目でさらなる伸長が求められるものの、その他においては概ね達成している。
- D：到達目標に記されている1～4を達成していない。

成績の評価方法/Grading

授業外学修に関する提出物（10%）、グループ発表（10%）、個人発表（20%）、小テスト（30%）、拡大テスト（30%）

教科書/Textbook(s)

備考	なし。授業内容に合わせて、ハンドアウトを配付します。
----	----------------------------

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△

課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3622	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	水3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (機械システム・電気電子システム)	対象年次	3年次 ~ 4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員 (ローマ字表記)	柴田 博和				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

このクラスは、学術的な内容だが一般読者向けの洋書を読みながら高度な語彙・読解力、分析力、発表力を身につけることを目的としています。文系・理系分野に共通するトピックを学際的な視点から考察し、読んだ内容を鵜呑みにすることなく批判的・多角的・独創的に議論することが求められます。授業では、毎回ある程度の量のリーディング、語彙テスト、グループ作業、そして発表を行います。学生は、主張と裏付けの理解、その分析と要約、そして明瞭かつ論理的な発表が求められます。英語で「学術的に」読み、そして堂々と知的な発表ができるようになることを目標としています。

キーワード/Keyword(s)

Belief; Cognitive Science of Religion; Neurotheology; Brain Evolution

到達目標/Learning Objectives

- * 文理の垣根を超えたトピックに関して学際的な視点で書かれた文献を読めるようになる
- * 特に背景知識のないトピックを批判的に考察・分析できる
- * 分析の結果をわかりやすく要約し発表できる
- * 自身と異なる主張を多角的に評価できる

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1. Introduction to the course / The Power of Beliefs
2. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (1)
3. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (2)
4. The Construction of Perceptual Beliefs (1)
5. The Construction of Perceptual Beliefs (2)
6. The Biology of Conceptual Beliefs (1)
7. The Biology of Conceptual Beliefs (2)
8. The Development of Childhood Beliefs (1)
9. The Development of Childhood Beliefs (2)
10. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (1)
11. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (2)
12. Nuns, Buddhists, and the Reality of Spiritual Beliefs
13. Speaking in Tongues
14. The Atheist Who Prayed to God
15. Becoming a Better Believer / Conclusion

【授業外の学修】

- (1) 予習として、課されている箇所の議論を理解するだけでなく、その議論を批判的に評価し自分の主張を論理的に表現してくる（→授業内のDiscussionの準備&Chapter Analysisとして提出）。
- (2) 単なる内容の理解に留まることなく、著者の主張/議論がどう表現されているのかといった言語面にも注目する（→Vocabulary Quizの対策）。

【アクティブ・ラーニング】

授業は講義中心ではなく、学生によるプレゼンテーションと、その内容に関する小グループでの議論及び全体での議論が中心となる。その準備として、毎回課された箇所を批判的に読んで分析したペーパーを提出する。授業中の議論では、準備してきた分析をシェアするだけでなく異なる意見を議論しながら、自分の主張を個人的経験や知識で裏付けをして表現する積極的な参加姿勢が常に求められる。

履修上の注意/Notes

- (1) 2回目より授業開始直後にVocabulary Quizを行うため、遅刻厳禁とする（遅刻は3回で欠席1回とみなす）。
- (2) トピックに関する背景知識は特に必要としないが、自分の経験・知識に裏付けられた意見を自発的に発表することが求められる。
- (3) 答えが一つではないトピックに関して、英語で読み、考え、表現し、議論することに慣れていってほしい。

情報端末の活用

ポータルシステムを通じて資料を随時配布する予定。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 到達目標の4点に関して極めて高いレベルで達成されている。
A : 到達目標の4点に関して高いレベル以上で達成されている。
B : 到達目標の4点に関して平均的なレベル以上で達成されている。
C : 到達目標の4点に関して最低限のレベル以上で達成されている。
D : 到達目標の4点のうち1点以上において全く達成されていない。

成績の評価方法/Grading

- (1) Weekly Analyses --- 28% (2points×14 classes)
- (2) Presentations --- 12% (6points×2回)
- (3) Class Participation --- 30% (2points×15 classes)
- (4) Final Paper --- 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	BORN TO BELIEVE: God, Science, and the Origin of Ordinary and Extraordinary Beliefs
著者名	A. Newberg & M. R. Waldman
出版社	Free Press
出版年	2006
ISBN	9780743274982
教材費	2552

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3623	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	水3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (機械システム・電気電子システム)	対象年次	3年次 ~ 4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English III C				
担当教員 (ローマ字表記)	ユルーン ボーダ				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

Acquire practical communication skills within an academic environment.

Each class-time has several components. Introducing the main topic of the class. This can be cultural, social, scientific, literary, in scope. Learning the particular vocabulary used therein instead of solely textbook English. Another component is looking and hearing actual use of English from YouTube where a particular topic is discussed or explained. Also the pronunciation essential in clear communication is on a weekly basis covered. Especially when the English sounds more Japanese than English. Indirectly students will also improve their study skills for permanent learning instead of exam oriented learning. At the end of the course students should be able to use APA style as a basic academic writing format. This is a tentative class plan to add to additional items

キーワード/Keyword(s)

academic English, social issues, academic writing, academic reading (including literature)

到達目標/Learning Objectives

For students the goal is to reach a level wherein actual and effective communication in english becomes possible by engaging in academic reading, writing, and discussion activities.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回 Course Introduction

第2回 A world of English. Using core vocabulary introduced in the unit and reading text using scanning and skimming skills.

第3回 A world of English. Developing critical thinking skills, such as identifying the difference between statements of fact and opinion, understanding different patterns of reasoning, analyzing graphs, and categorizing data.

第4回 Where are all the babies? (Society and Technology: Aging society)

第5回 The Price of excellence (Drugs in sport)

第6回 The inconvenient truth of global warming

第7回 Changing ideals of beauty

第8回 Vegetarianism

第9回 Disappearing languages

第10回 Our crowded earth

第11回 Do great athletes deserve great salaries?

第12回 The global warming myth?

第13回 Is beauty skin deep?

第14回 Animals as food

第15回 Review and preparation class (test/exam/report submission)

This is a tentative plan; some units may require extra classes to complete

→Course Overview

Students need to be pro-active in their learning and educational achievements. Educational passiveness, or mental passiveness, will not be beneficial later in future professional life. Avoid sleeping through your university life.

Reading, Listening, Writing, Grammar & Vocabulary exercises in the textbook: Classes 1-10, 16-23

Presentations & Essays: Classes 3-29 (Selecting a topic, conducting research, developing conceptual map, outline, and essays; preparing and practicing presentations; reviewing and revising presentations and essays)

Autonomous Learning: Book Report (Classes 2-20) & CALL (Classes 2-29)

The key principles of active learning are:

1. The task has purpose and relevance to the students.
2. The students are able to reflect on the meaning of what they have learnt.
3. The students can negotiate goals and methods of learning with the teacher.
4. The students can critically evaluate different ways and means of learning the content.
5. The complexity of the learning tasks is comparable to professional contexts and real life.
6. The tasks are situation-driven: that is, the need of the situation is taken into consideration in order to establish the learning tasks.

Adapted from Barnes, D 1989, Active Learning, Leeds University TVEI Support Project

履修上の注意/Notes

This class will solely be taught in English. Students need to be able to communicate in English (intermediary-advanced level!!)

Additional class skills:

Study skills; note-taking techniques (academic/professional); basic academic writing/presentation skills

3 times late = 1 absent

Office hour: During class time is the best time for questions. After class time is not possible due to other classes.

情報端末の活用

See above 'notes'

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : (based on independent initiatives and originality in the work; high quality content)

A : (better quality work; able to work independently with good results and quality content)

B : (good quality work; able to work independently with good results; sufficient quality content)

C : (passable results in the work; quality slightly better)

D : (low quality, slipshod work results)

成績の評価方法/Grading

In-class activities 20%

Review quizzes 60%

Outside-class activities 20%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Student book 2 In Focus: A vocabulary, reading, and critical thinking skills course
著者名	Charles Browne, Brent Culligan, Joseph Phillips
出版社	Cambridge University press
出版年	2014
ISBN	9781107697010
教材費	2995

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3629	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (情報・物質・都市)	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員 (ローマ字表記)	大島 玲子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

言語学習の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)を総合的に向上させることによって、実践的で学際的なコミュニケーション能力の育成を図る。クラスはできるだけ英語で運営される。テキストの内容は日々の生活に関するものから専門的なものまで幅広くカバーされる。宿題としてエッセイライティング、要約などが課される。学生発表は全て英語で行う。

キーワード/Keyword(s)

聴力、表現力、授業内活動参加度、読解力、コミュニケーション能力

到達目標/Learning Objectives

幅広い分野を扱ったテキストや英語資料を読み、それに基づいたディスカッション、個人発表ができる。また、これらに関して学術的根拠を基に論理的にレポートをまとめることができる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

【授業内容】

第1回：シラバスを用いたガイダンス、および自己紹介等、Unit 1 導入

第2回：Unit 1 Reading 1 We All Need a Role Model

第3回：Unit 1 Reading 2 Everyday Heroes

第4回：小テスト/ Unit 2 導入

第5回：Unit 2 Reading 1 Your Guide to Generation Z: The Frugal, Brand-Wary, Determined Anti-Millennials

第6回：Unit 2 Reading 2 This is Why You're Addicted to Your Phone/小テスト

第7回：試験1 (Unit 1 & 2) /Unit 3 導入 * 課題提出(Essay Writing)

第8回：Unit 3 Reading 1 The Difference Between Fitting in and Belonging, and Why It Matters

第9回：Unit 3 Reading 2 Life Lessons I learned from My Dad in 23 Years

第10回：小テスト/ Unit 4 導入

第11回：Unit 4 Reading 1 Five Innovative Technologies That Bring Energy to the Developing World

第12回：Unit 4 Reading 2 This Device Pulls Water Out of Desert Air/小テスト

第13回：試験2 (Unit 3 & 4)/発表準備 * 課題提出 (Essay Writing)

第14回：学生発表

第15回：学生発表

【授業外学修】

- 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。効率的に授業を進めるために、わからない用語等は前もって調べてから授業に臨むこと。
- 発表日、発表の手順等は、登録者数によって多少変わります。自分の発表日までに、教員と相談し、発表内容、原稿等を責任をもって準備

すること。

3. この授業はディスカッションやグループワークなど、クラスメートと共同で行う作業がいくつかあります。場合によっては発表もペアで行う可能性があるため、クラス外でも協力して準備に取り組むこと。

【アクティブ・ラーニング】

第7、13、14、15回についてはそれまでの学修内容・課題を踏まえたグループ・ディスカッション、発表を行う。

履修上の注意/Notes

1. 単位修得のためには3分の2以上の出席が条件。

2. 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。

3. クラスには時間通りに来ること。(15分以上遅刻=欠席/遅刻3回=欠席1回)

*初回授業でオフィスアワー、クラス規則と授業内容の説明をしますので、初回授業は必ず出席してください。

情報端末の活用

・クラス内で必要な配布物・ワークシート等は、教務情報ポータルシステムに載せておきます。適宜ダウンロードして使ってください。(課題等はクラス内で受け付けます)

・授業のための携帯の使用(辞書機能等の使用)は否定しませんが、良識の範囲内での使用をお願いします。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標を十分に達成し、極めて優れた学修成果をあげている。

A : 到達目標を達成し、優れた学修成果をあげている。

B : 到達目標と学修成果を概ね達成している。

C : 合格と認められる最低限の到達目標に届いている。

D : 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

1. 授業参加状況/宿題/課題 25%

2. 小テスト(単語・リスニング) 25%

3. 試験(2回) 25%

4. 発表 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Q: Skills for Success Level 4 Reading and Writing Student Book e-book with iQ Online Practice
著者名	Debra Daise and Charl Norloff
出版社	Oxford University Press
出版年	2020
ISBN	9780194912280
教材費	3000

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	△
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3630	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	金2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T (情報・物質・都市)	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育 (基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員 (ローマ字表記)	ダッタスディプタ				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

The objective of this course is to communicate effectively in situations commonly encountered in everyday life.

キーワード/Keyword(s)

Word stress, listening, vocabulary, additional grammar

到達目標/Learning Objectives

Improve ability to communicate in multi-cultural environment as well as develop speaking and listening skills.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

Day 1: Self-introduction Unit 1 speaking, grammar, pronunciation
 Day 2: Unit 1 Writing a description, interviewing classmates
 Day 3: Unit 2 discussion career of the future, describing jobs, grammar
 Day 4: Unit 2 Writing, comparing people's career and personality
 Day 5: Unit 3 making direct, indirect, unusual request
 Day 6: Unit 3 writing e mails with request. Interchange activity
 Day 7: Unit 4 narrating story, describing events, grammar, intonation
 Day 8: Unit 4 writing a news story, completing a story
 Day 9: Unit 1,2,3,4 progress check
 Day 10: Book report
 Day 11: Unit 5 cultural comparisons, cultural shock, grammar
 Day 12: Unit 5 Word stress in sentences, writing a tourist pamphlet
 Day 13: Unit 1,2,3,4,5 review
 Day 14: Final Test
 Day 15: Test return and feedback

Homework:
 Keep a vocabulary notebook of all the new words you come across, including the sentence you see them in. Look back at your notebook regularly and try to write new sentences using the words you have learned.
 Review grammar and key expressions

Active Learning
 The following active learning features are implemented throughout the course.

Tasks include predicting, making inferences, skimming for information, scanning for details, identifying reference words, interviewing classmates and understanding their opinion, think about given questions and share opinions and self assessment.

履修上の注意/Notes

Students must do their homework regularly.
Two times late for the class will be counted as one absent.

情報端末の活用

PC is required for referring to course materials

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Achieved 90-100% of what is specified in the course evaluation system
A : Achieved 80-89% of what is specified in the course evaluation system
B : Achieved 70-79% of what is specified in the course evaluation system
C : Achieved 60-69% of what is specified in the course evaluation system
D : Achieved less than 60% of what is specified in the course evaluation system

成績の評価方法/Grading

Test 60%
Completion of Homework assignment 10%
Attendance 10%
Class performance 10%
Activities 10%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Interchange Students Book 3 Fourth edition
著者名	Jack C. Richards
出版社	Cambridge
出版年	2012
ISBN	9781107615069
教材費	5000

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎

実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB0314	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	月7	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T(フレックス、Bコース)	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育(基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員(ローマ字表記)	柴田 博和				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

このクラスは、学術的な内容だが一般読者向けの洋書を読みながら高度な語彙・読解力、分析力、発表力を身につけることを目的としています。文系・理系分野に共通するトピックを学際的な視点から考察し、読んだ内容を鵜呑みにすることなく批判的・多角的・独創的に議論することが求められます。授業では、毎回ある程度の量のリーディング、語彙テスト、グループ作業、そして発表を行います。学生は、主張と裏付けの理解、その分析と要約、そして明瞭かつ論理的な発表が求められます。英語で「学術的に」読み、そして堂々と知的な発表ができるようになることを目標としています。

キーワード/Keyword(s)

Belief; Cognitive Science of Religion; Neurotheology; Brain Evolution

到達目標/Learning Objectives

- * 文理の垣根を超えたトピックに関して学際的な視点で書かれた文献を読めるようになる
- * 特に背景知識のないトピックを批判的に考察・分析できる
- * 分析の結果をわかりやすく要約し発表できる
- * 自身と異なる主張を多角的に評価できる

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

1. Introduction to the course / The Power of Beliefs
2. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (1)
3. Searching for Beliefs in a Haystack of Neurons (2)
4. The Construction of Perceptual Beliefs (1)
5. The Construction of Perceptual Beliefs (2)
6. The Biology of Conceptual Beliefs (1)
7. The Biology of Conceptual Beliefs (2)
8. The Development of Childhood Beliefs (1)
9. The Development of Childhood Beliefs (2)
10. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (1)
11. The Gap between Behavior and Moral Beliefs (2)
12. Nuns, Buddhists, and the Reality of Spiritual Beliefs
13. Speaking in Tongues
14. The Atheist Who Prayed to God
15. Becoming a Better Believer / Conclusion

【授業外の学修】

(1) 予習として、課されている箇所の議論を理解するだけでなく、その議論を批判的に評価し自分の主張を論理的に表現してくる（→授業内のDiscussionの準備&Chapter Analysisとして提出）。

(2) 単なる内容の理解に留まることなく、著者の主張/議論がどう表現されているのかといった言語面にも注目する（→Vocabulary Quizの対策）。

【アクティブ・ラーニング】

授業は講義中心ではなく、学生によるプレゼンテーションと、その内容に関する小グループでの議論及び全体での議論が中心となる。その準備として、毎回課された箇所を批判的に読んで分析したペーパーを提出する。授業中の議論では、準備してきた分析をシェアするだけでなく異なる意見を議論しながら、自分の主張を個人的経験や知識で裏付けをして表現する積極的な参加姿勢が常に求められる。

履修上の注意/Notes

(1) 2回目より授業開始直後にVocabulary Quizを行うため、遅刻厳禁とする（遅刻は3回で欠席1回とみなす）。

(2) トピックに関する背景知識は特に必要としないが、自分の経験・知識に裏付けられた意見を自発的に発表することが求められる。

(3) 答えが一つではないトピックに関して、英語で読み、考え、表現し、議論することに慣れていってほしい。

情報端末の活用

ポータルシステムを通じて資料を随時配布する予定。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標の4点に関して極めて高いレベルで達成されている。

A : 到達目標の4点に関して高いレベル以上で達成されている。

B : 到達目標の4点に関して平均的なレベル以上で達成されている。

C : 到達目標の4点に関して最低限のレベル以上で達成されている。

D : 到達目標の4点のうち1点以上において全く達成されていない。

成績の評価方法/Grading

(1) Weekly Analyses --- 28% (2points×14 classes)

(2) Presentations --- 12% (6points×2回)

(3) Class Participation --- 30% (2points×15 classes)

(4) Final Paper --- 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	BORN TO BELIEVE: God, Science, and the Origin of Ordinary and Extraordinary Beliefs
著者名	A. Newberg & M. R. Waldman
出版社	Free Press
出版年	2006
ISBN	9780743274982
教材費	2552

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB0323	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	月6	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T(フレックス、Bコース)	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育(基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員(ローマ字表記)	大島 玲子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

言語学習の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)を総合的に向上させることによって、実践的で学際的なコミュニケーション能力の育成を図る。クラスはできるだけ英語で運営される。テキストの内容は日々の生活に関するものから専門的なものまで幅広くカバーされる。宿題としてエッセイライティング、要約などが課される。学生発表は全て英語で行う。

キーワード/Keyword(s)

聴力、表現力、授業内活動参加度、読解力、コミュニケーション能力

到達目標/Learning Objectives

幅広い分野を扱ったテキストや英語資料を読み、それに基づいたディスカッション、個人発表ができる。また、これらに関して学術的根拠を基に論理的にレポートをまとめることができる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

【授業内容】

第1回：シラバスを用いたガイダンス、および自己紹介等、Unit 1 導入

第2回：Unit 1 Reading 1 We All Need a Role Model

第3回：Unit 1 Reading 2 Everyday Heroes

第4回：小テスト/ Unit 2 導入

第5回：Unit 2 Reading 1 Your Guide to Generation Z: The Frugal, Brand-Wary, Determined Anti-Millennials

第6回：Unit 2 Reading 2 This is Why You're Addicted to Your Phone/小テスト

第7回：試験1(Unit 1 & 2) /Unit 3 導入 *課題提出(Essay Writing)

第8回：Unit 3 Reading 1 The Difference Between Fitting in and Belonging, and Why It Matters

第9回：Unit 3 Reading 2 Life Lessons I learned from My Dad in 23 Years

第10回：小テスト/ Unit 4 導入

第11回：Unit 4 Reading 1 Five Innovative Technologies That Bring Energy to the Developing World

第12回：Unit 4 Reading 2 This Device Pulls Water Out of Desert Air/小テスト

第13回：試験2 (Unit 3 & 4)/発表準備 *課題提出 (Essay Writing)

第14回：学生発表

第15回：学生発表

【授業外学修】

- 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。効率的に授業を進めるために、わからない用語等は前もって調べてから授業に臨むこと。
- 発表日、発表の手順等は、登録者数によって多少変わります。自分の発表日までに、教員と相談し、発表内容、原稿等を責任をもって準備

すること。

3. この授業はディスカッションやグループワークなど、クラスメートと共同で行う作業がいくつかあります。場合によっては発表もペアで行う可能性があるため、クラス外でも協力して準備に取り組むこと。

【アクティブ・ラーニング】

第7、13、14、15回についてはそれまでの学修内容・課題を踏まえたグループ・ディスカッション、発表を行う。

履修上の注意/Notes

1. 単位修得のためには3分の2以上の出席が条件。

2. 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。

3. クラスには時間通りに来ること。(15分以上遅刻=欠席/遅刻3回=欠席1回)

*初回授業でオフィスアワー、クラス規則と授業内容の説明をしますので、初回授業は必ず出席してください。

情報端末の活用

・クラス内で必要な配布物・ワークシート等は、教務情報ポータルシステムに載せておきます。適宜ダウンロードして使ってください。(課題等はクラス内で受け付けます)

・授業のための携帯の使用(辞書機能等の使用)は否定しませんが、良識の範囲内での使用をお願いします。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標を十分に達成し、極めて優れた学修成果をあげている。

A : 到達目標を達成し、優れた学修成果をあげている。

B : 到達目標と学修成果を概ね達成している。

C : 合格と認められる最低限の到達目標に届いている。

D : 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

1. 授業参加状況/宿題/課題 25%

2. 小テスト(単語・リスニング) 25%

3. 試験(2回) 25%

4. 発表 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Q: Skills for Success Level 4 Reading and Writing Student Book e-book with iQ Online Practice
著者名	Debra Daise and Charl Norloff
出版社	Oxford University Press
出版年	2020
ISBN	9780194912280
教材費	3000

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	△
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3705	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	月1	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	若松 弘子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

英語の4技能のうち、特に読むことに重点を置き、しっかり理解することに加え、書く技能、聞く技能および話す技能の効果的な運用を心がける。大学生活における英語学習と専門分野との懸け橋となる実践的な技能を習得するための活動を行う。

キーワード/Keyword(s)

academic skills, four skills (reading, listening, writing, and speaking), critical thinking, communication

到達目標/Learning Objectives

1. 英語の4技能について意味のある運用を行うことができ、基本的な技能の習熟が達成されている。
2. 不明点をおろそかにせず、関連図書や辞書を利用して主体的に調べる習慣が身についている。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>Lesson Plans</p> <p>Week 1: Course Introduction; Unit 1 (Text 1)</p> <p>Week 2: Unit 2 (Text 1)</p> <p>Week 3: Unit 3; Quiz on Units 1-3 (Text 1)</p> <p>Week 4: Unit 4 (Text 1); Review of Part 1 (Text 2)</p> <p>Week 5: Unit 5 (Text 1)</p> <p>Week 6: Unit 6; Quiz on Units 4-6 (Text 1)</p> <p>Week 7: Unit 7 (Text 1); Review of Part 2 (Text 2)</p> <p>Week 8: Unit 8 (Text 1)</p> <p>Week 9: Unit 9; Quiz on Units 7-9 (Text 1)</p> <p>Week 10: Unit 10 (Text 1); Review of Part 3 (Text 2)</p> <p>Week 11: Unit 11(Text 1)</p> <p>Week 12: Unit 12; Quiz on Units 10-12 (Text 1)</p> <p>Week 13: Unit 13 (Text 1); Review of Part 4 (Text 2)</p> <p>Week 14: Unit 14; Quiz on Units 13-15 (Text 1); Test (Text 1 & 2)</p> <p>Week 15: Unit 15; Feedback on tests</p> <p>The test on Week 14 is twofold. The first part contains questions regarding Text 1; the second part is an open-book test regarding Text 2.</p> <p>【Homework】</p>
--

テキスト(教科書1)を事前に読んで内容の概要をつかみ、Vocabulary sections およびGrammar sectionsの問題に取り組む。教科書2についてOneDriveで共有するファイル内の個々に振り当てられる該当箇所書き込みを行う(詳細は初回授業に説明)。

【Active Learning】

Following active learning features are included.

Pair/group work, discussions: Week 1-15

Reflection (brain storming, slip writing, plot writing): Week 4, 7, 10, 13

履修上の注意/Notes

辞書を持参すること。毎回テキストの講義に該当する範囲を読み、内容の概要をつかんでおくこと。講義で学んだ知識を整理し、自分自身の教室外での英語学習に応用するよう心がけること。

情報端末の活用

授業外学修に使用する。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 到達目標の2点について極めて高いレベルで達成されている。
- A : 到達目標の2点について高いレベルで達成されている。
- B : 到達目標の2点についておおむね達成されている。
- C : 到達目標の2点について最低限のレベル以上において達成されている。
- D : 到達目標の2点について達成されていない。

成績の評価方法/Grading

Test 20%, Quiz 60%, Homework 10%, Participation (not just attendance)10%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	What is Language? Invitation to Linguistics
著者名	Hajime Narita, Kazumi Tsutada, Terrence Gordon
出版社	三修社
出版年	2019
ISBN	9784384334739
教材費	2090

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	老人と海 = The old man and the sea
著者名	ヘミングウェイ著 = Hemingway
出版社	講談社インターナショナル
出版年	1998

ISBN	9784770023735
教材費	1045

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3710	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	3年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	若松 弘子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

英語の4技能のうち、特に読むことに重点を置き、しっかり理解することに加え、書く技能、聞く技能および話す技能の効果的な運用を心がける。大学生活における英語学習と専門分野との懸け橋となる実践的な技能を習得するための活動を行う。

キーワード/Keyword(s)

academic skills, four skills (reading, listening, writing, and speaking), critical thinking, communication

到達目標/Learning Objectives

1. 英語の4技能について意味のある運用を行うことができ、基本的な技能の習熟が達成されている。
2. 不明点をおろそかにせず、関連図書や辞書を利用して主体的に調べる習慣が身についている。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

Lesson Plans
Week 1: Course Introduction; Unit 1 (Text 1)
Week 2: Unit 2 (Text 1)
Week 3: Unit 3; Quiz on Units 1-3 (Text 1)
Week 4: Unit 4 (Text 1); Review of Part 1 (Text 2)
Week 5: Unit 5 (Text 1)
Week 6: Unit 6; Quiz on Units 4-6 (Text 1)
Week 7: Unit 7 (Text 1); Review of Part 2 (Text 2)
Week 8: Unit 8 (Text 1)
Week 9: Unit 9; Quiz on Units 7-9 (Text 1)
Week 10: Unit 10 (Text 1); Review of Part 3 (Text 2)
Week 11: Unit 11(Text 1)
Week 12: Unit 12; Quiz on Units 10-12 (Text 1)
Week 13: Unit 13 (Text 1); Review of Part 4 (Text 2)
Week 14: Unit 14; Quiz on Units 13-15 (Text 1); Test (Text 1 & 2)
Week 15: Unit 15; Feedback on tests

The test on Week 14 is twofold. The first part contains questions regarding Text 1; the second part is an open-book test regarding Text 2.

【Homework】

テキスト(教科書1)を事前に読んで内容の概要をつかみ、Vocabulary sections およびGrammar sectionsの問題に取り組む。教科書2についてOneDriveで共有するファイル内の個々に振り当てられる該当箇所書き込みを行う(詳細は初回授業に説明)。

【Active Learning】

Following active learning features are included.

Pair/group work, discussions: Week 1-15

Reflection (brain storming, slip writing, plot writing): Week 4, 7, 10, 13

履修上の注意/Notes

辞書を持参すること。毎回テキストの講義に該当する範囲を読み、内容の概要をつかんでおくこと。講義で学んだ知識を整理し、自分自身の教室外での英語学習に応用できるよう心がけること。

情報端末の活用

授業外学修に使用する。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 到達目標の2点について極めて高いレベルで達成されている。
- A : 到達目標の2点について高いレベルで達成されている。
- B : 到達目標の2点についておおむね達成されている。
- C : 到達目標の2点について最低限のレベル以上において達成されている。
- D : 到達目標の2点について達成されていない。

成績の評価方法/Grading

Test 20%, Quiz 60%, Homework 10%, Participation (not just attendance)10%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	What is Language? Invitation to Linguistics
著者名	Hajime Narita, Kazumi Tsutada, Terrence Gordon
出版社	三修社
出版年	2019
ISBN	9784384334739
教材費	2090

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	老人と海 = The old man and the sea
著者名	ヘミングウェイ著 = Hemingway
出版社	講談社インターナショナル
出版年	1998

ISBN	9784770023735
教材費	1045

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	<input checked="" type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3804	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	集中	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	ドラコス ジョセフ				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

This course is a comprehensive look at different aspects that define human culture

キーワード/Keyword(s)

Culture, humanity, human, anthropology

到達目標/Learning Objectives

1. Allow students and opportunity to hear English in a natural environment.
2. Give students opportunities to speak English on topics either familiar or new.
3. Give students an opportunity to develop thoughts and opinions on familiar or new topics and express them in English.
4. To introduce students to the topic of Anthropology and aspects that make up human culture.

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

The course will consist mainly of lecture and discussion type classes. Students will receive pre-study papers in order to familiarize themselves with the lecture subject. Pre-study papers will consist of short research and discussion question exercises. There will be 2 quizzes and a short presentation. Other course particulars will be explained on the first day of class.

Course description:
This GEP course is designed to introduce students to the study of topics related to human culture. The activities are designed to help students improve their understanding of the world.

Session 1: Course explanation, get to know teachers and students Lecture: Overview of anthropology
Session 2: Lecture/ discussion: Basics of culture
Session 3: Listening activity: Country tours
Session 4: Lecture/ discussion: Language as culture
Session 5: Listening activities: English accents
Session 6: Lecture/ DVD/ discussion: Religion as culture
Session 7: Lecture/ discussion/ interactive: Medicine as culture
Session 8: Lecture/ interactive: Combat as culture
Session 9: Listening activity: World heritage sites
Session 10: Lecture/ discussion: Multiculturalism
Culture research project explanation

Session 11: Presentation A (prep)
Session 12: Presentation A
Session 13: Presentation B (prep)
Session 14: Presentation B
Session 15: Final Test

Active Learning

Lecture classes- Students listen to lectures about topics that relate to human culture. Students will be expected to listen, take notes and participate in discussion. Pre-study papers will handed out one class period before the lecture.

Interactive classes- Students will get to participate in activities related to the topic.

Listening- Students will listen to topics related to culture and fill out a worksheet based on the topic. Papers will be turned in at the end of the period.

Presentation- Depending on the size of the class, students will give one or two short presentations on cultural topics. Topic 1 will be on a country; topic 2 will be a cultural topic. In the case of a large class, topic 1 will be the only presentation requirement.

履修上の注意/Notes

Active participation is encouraged as well as attendance

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Student has demonstrated excellent participation in class projects and discussions, received high scores on quizzes and presentation

A : Student has demonstrated high level participation in class projects and discussions, receive A level scores on quizzes and presentation

B : Student has demonstrated satisfactory level participation in class projects and discussions, received satisfactory scores on quizzes and presentation

C : Student has demonstrated passing level in class projects and discussions, received passing scores

D : Student is lacking n assignments, discussions or attendance, may not pass course

成績の評価方法/Grading

Grade is based on a point collection scale and converted to a percentage based on the total point score.

Grading percentages are as follows:

In class, pre-study, discussion participation = 50%

Quizzes = 25%

Presentation = 25%

教科書/Textbook(s)

備考

All materials will be provided by the teacher.

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3808	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	集中	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	大島 玲子				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

言語学習の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)を総合的に向上させることによって、実践的で学際的なコミュニケーション能力の育成を図る。クラスはできるだけ英語で運営される。テキストの内容は日々の生活に関するものから専門的なものまで幅広くカバーされる。宿題としてエッセイライティング、要約などが課される。学生発表は全て英語で行う。

キーワード/Keyword(s)

聴力、表現力、授業内活動参加度、読解力、コミュニケーション能力

到達目標/Learning Objectives

幅広い分野を扱ったテキストや英語資料を読み、それに基づいたディスカッション、個人発表ができる。また、これらに関して学術的根拠を基に論理的にレポートをまとめることができる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

【授業内容】

第1回：シラバスを用いたガイダンス、および自己紹介等、Unit 1 導入

第2回：Unit 1 Reading 1 We All Need a Role Model

第3回：Unit 1 Reading 2 Everyday Heroes

第4回：小テスト/ Unit 2 導入

第5回：Unit 2 Reading 1 Your Guide to Generation Z: The Frugal, Brand-Wary, Determined Anti-Millennials

第6回：Unit 2 Reading 2 This is Why You're Addicted to Your Phone/小テスト

第7回：試験1(Unit 1 & 2) /Unit 3 導入 *課題提出(Essay Writing)

第8回：Unit 3 Reading 1 The Difference Between Fitting in and Belonging, and Why It Matters

第9回：Unit 3 Reading 2 Life Lessons I learned from My Dad in 23 Years

第10回：小テスト/ Unit 4 導入

第11回：Unit 4 Reading 1 Five Innovative Technologies That Bring Energy to the Developing World

第12回：Unit 4 Reading 2 This Device Pulls Water Out of Desert Air/小テスト

第13回：試験2 (Unit 3 & 4)/発表準備 *課題提出 (Essay Writing)

第14回：学生発表

第15回：学生発表

【授業外学修】

- 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。効率的に授業を進めるために、わからない用語等は前もって調べてから授業に臨むこと。
- 発表日、発表の手順等は、登録者数によって多少変わります。自分の発表日までに、教員と相談し、発表内容、原稿等を責任をもって準備

すること。

3. この授業はディスカッションやグループワークなど、クラスメートと共同で行う作業がいくつかあります。場合によっては発表もペアで行う可能性があるため、クラス外でも協力して準備に取り組むこと。

【アクティブ・ラーニング】

第7、13、14、15回についてはそれまでの学修内容・課題を踏まえたグループ・ディスカッション、発表を行う。

履修上の注意/Notes

1. 単位修得のためには3分の2以上の出席が条件。

2. 教科書の決められた単元は、前もって読んでくること。

3. クラスには時間通りに来ること。(15分以上遅刻=欠席/遅刻3回=欠席1回)

*初回授業でオフィスアワー、クラス規則と授業内容の説明をしますので、初回授業は必ず出席してください。

情報端末の活用

・クラス内で必要な配布物・ワークシート等は、教務情報ポータルシステムに載せておきます。適宜ダウンロードして使ってください。(課題等はクラス内で受け付けます)

・授業のための携帯の使用(辞書機能等の使用)は否定しませんが、良識の範囲内での使用をお願いします。

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標を十分に達成し、極めて優れた学修成果をあげている。

A : 到達目標を達成し、優れた学修成果をあげている。

B : 到達目標と学修成果を概ね達成している。

C : 合格と認められる最低限の到達目標に届いている。

D : 到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

1. 授業参加状況/宿題/課題 25%

2. 小テスト(単語・リスニング) 25%

3. 試験(2回) 25%

4. 発表 30%

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Q: Skills for Success Level 4 Reading and Writing Student Book e-book with iQ Online Practice
著者名	Debra Daise and Charl Norloff
出版社	Oxford University Press
出版年	2020
ISBN	9780194912280
教材費	3000

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	△
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB3812	ナンバリング	KB-ENG-232	科目分野	演習
開講曜日・時限	集中	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	Advanced English ⅢC				
担当教員（ローマ字表記）	熊谷 允岐				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

授業の概要/Course Overview

英語の4技能のうち、特に読むことおよび書くことに重点を置きながらも、聞く技能および話す技能の効果的な運用も心がけ、幅広い話題に触れることにより、大学生活における英語学習と専門分野との懸け橋となる実践的な技能を習得するための活動を行う。特にこの授業では読むことおよび書くことに重点を置き、各ユニットでは意見交換を行いながら、リーディングおよびライティング活動を積極的に行う。

キーワード/Keyword(s)

academic skills, communication, four skills (reading, listening, writing, and speaking), critical thinking

到達目標/Learning Objectives

- (1) 学術的なテキストを読み、専門分野の架け橋となる基本的な語彙力を身につけることができる。
- (2) 授業内外で様々な形式の英文に繰り返し触れることで、基礎的な読解力や文法力を身に付けると共に、自身に適した効果的な読み方を模索する習慣がつく。
- (3) 授業の内容と自身の経験を結びつけ、他の学習者とのフィードバックを通し様々なタイプの英文エッセイ（3パラグラフ程度）を作成できるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：Course introduction; Needs questionnaire; Placement vocabulary test; Self-introduction activities
- 第2回：[Unit 1] "Reading 1": We all need to a Role Model
- 第3回：[Unit 1] "Reading 2": Search for 100 Real-Life Heroes
- 第4回：[Unit 1] "Writing 1": How to write a three-paragraph analysis essay
- 第5回：[Unit 1] "Writing 2": Peer feedback for your analysis essay / Introduction of writing tool (1)
- 第6回：[Unit 2] "Reading 1": So Much Dead Space
- 第7回：[Unit 2] "Reading 2": Now on Stage: Your Home!
- 第8回：[Unit 2] "Writing 1": How to write a three-paragraph descriptive essay
- 第9回：[Unit 2] "Writing 2": Peer feedback for your descriptive essay / Introduction of writing tool (2)
- 第10回：[Unit 3] "Reading 1": The Good Team
- 第11回：[Unit 3] "Reading 2": Bird by Bird
- 第12回：[Unit 3] "Writing 1": How to write a three-paragraph narrative essay
- 第13回：[Unit 3] "Writing 2": Peer feedback for your narrative essay / Introduction of writing tool (3)
- 第14回：Reflection activity & How to read and enjoy novels
- 第15回：Achievement Trial & Reflective portfolio

【授業外学修】

- (1) 第1回では、現時点での語彙力を自身で認識してもらうための単語テストを実施する。一度受験の時に用いた教材などで知識の復習をしておくことが望ましい。
- (2) 第2回から第14回までの各回では、教科書や配布教材の事前学修が必須となる。各回における指示に従い、次回の授業までの予習は必ず行うこと。
- (3) 第5回・第9回・第13回では、各ユニットの内容の理解度を確認するために、Unit Assignmentを配布する。一人で取り組む必要はなく、同じクラスメンバーと内容を吟味しながら課題に取り組むことが望ましい。
- (4) ユニット毎に、Writing Assignmentが課される。授業で学んだ知識と自身の経験を統合し、トピックに関連したエッセイを作成して提出してもらう。授業内で紹介するライティングツールも含めて、英和辞典、英英辞典、類義語辞典などを活用しながら課題に臨むことが望ましい。
- (5) 第15回の小テストは実力試験ではなく、到達度を測る試験となっている。授業で扱った内容の理解を包括的に評価するものであるため、日々の復習を怠らず、疑問点はできるだけ早めに解消したのちに授業に参加することが望まれる。

【アクティブラーニング】

- (1) 毎回授業終了時にミニツッパーパーで授業内容の振り返りを行う。
- (2) このクラスではWriting Assignmentの本提出の前に、学生同士で作成したエッセイを批判的に考察し合う時間が設けられている（第5回・第9回・第13回）。互いのアイデアを共有し、良い点は自身のエッセイに生かし、問題点は共に解決の糸口を探っていく。学生を中心とした活動であるため、積極的な参加が望まれる。

履修上の注意/Notes

- (1) 各授業後、ポータルシステムを通じてその日用いた教材およびPower Pointのスライドを配信する。次回までの予習内容や配布課題なども記載されているため、欠席者を含め履修者は最低一回確認を行うこと。
- (2) 遅刻は3回で欠席1回とみなす。遅刻の扱いは授業開始後20分までとし、それ以降の遅刻は欠席扱いとする。
- (3) 当日の授業を欠席した場合、授業後にその日の提出課題のみの受け取りや、課題の配布は原則行わない。
- (4) 受け身ではなく、自分で調べる・考える姿勢を身につけて欲しい。
- (5) 各課題にはフィードバックを行うが、期限を過ぎてからの提出物に対して、フィードバックは原則行わない。

情報端末の活用

- (1) 第5回・第9回・第13回では互いの作成したエッセイを評価するため、必ずPC持参のこと。
- (2) Writing Assignmentは教務情報ポータルを通じて提出すること。
- (3) 第15回ではアンケートを実施する予定のため、PCあるいはスマートフォンなどを持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。
- A : 到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。
- B : 到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。
- C : 到達目標の3点について最低限のレベル以上で達成されている。
- D : 到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

成績の評価方法/Grading

Unit Assignment (30%); Writing Assignment (45%); Minutes Paper (10%); Achievement Trial (10%); Reflective portfolio (5%)

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Longman dictionary of common errors
著者名	N D Turton and J B Heaton

出版社	Longman
出版年	1996
ISBN	9780582237520
教材費	2920

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input type="radio"/>
専門分野の学力	
課題解決能力	<input checked="" type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	<input type="radio"/>
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--